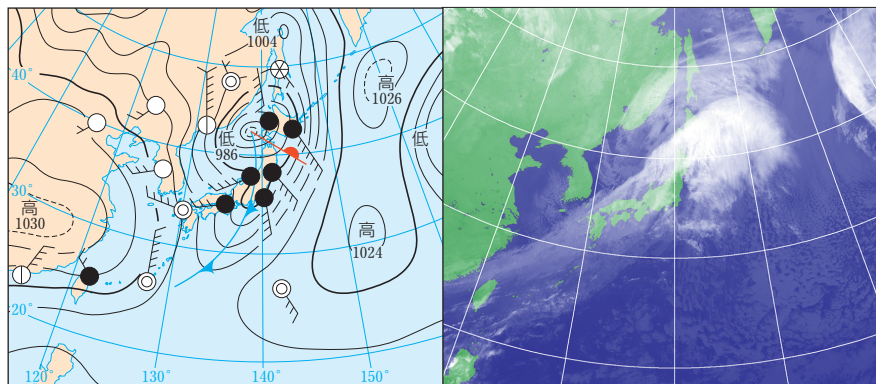


▲図1 冬型の気圧配置と雲画像(2009年1月2日6時, 赤外画像) 衛星画像で見られる, 日本海をわたるすじ状の雲は積雲の列。脊梁山脈を越えるとき日本海側に雪を降らせる。太平洋に吹き出し低気圧に吹き込む風によって, 太平洋にも同様のすじ状の積雲の列がつくられている。日本海や太平洋の海面水温が高く, 水が盛んに蒸発するため, このような雲が発達する。天気図記号については, p.225 資料3を参照。

## B 春のあらし

日射量がしだいに増え気温が上昇すると, シベリア高気圧が弱まり, 西高東低型の気圧配置がくずれる。偏西風がしだいに北へ移動して, 低気圧が日本海を通過するようになる。南から暖かい空気が入ると, まだ冷たい大陸の空気とぶつかって**温帯低気圧**が急速に発達し, 低気圧に向かって暖かく強い南よりの風が吹き込む

5



▲図2 春のあらし(2009年3月14日9時, 赤外画像) 前線を伴った温帯低気圧が発達しながら日本海を北東へ進み, 各地で強い風が吹いた。